

麻酔科学(麻酔学)

科目到達目標:麻酔科学とその周辺領域の知識を獲得し、患者の全身管理法を説明できる

科目責任者(所属教室):稲垣 喜三(麻酔・集中治療医学)

回数	月日	時限	講義室	講義内容	担当者	分野・診療科	到達目標	講義のキーワード
1	11/9(月)	3	111	麻酔科学総論	稲垣 喜三	麻酔・集中治療医学	麻酔の概念の理解と麻酔時や侵襲時の生体反応が説明でき、術前患者評価法と麻酔の適応を考える。	ストレス反応、恒常性維持機構、術前評価
2	11/9(月)	4	111	臨床麻酔科学1	稲垣 喜三	麻酔・集中治療医学	周術期の体液管理と電解質管理を理解し、輸液や輸血の適応が説明できる。	輸液法、輸血法、体液・電解質管理
3	11/16(月)	3	111	臨床麻酔科学2	大嶋 嘉明	麻酔・集中治療医学	吸入麻酔薬と静脈麻酔薬の種類と適応、禁忌、合併症が説明できる。	吸入麻酔薬、静脈麻酔薬、オピオイド
4	11/16(月)	4	111	臨床麻酔科学3	船木 一美	麻酔診療科群	局所麻酔薬と筋弛緩薬の種類と適応、禁忌、合併症が説明できる。	局所麻酔薬、筋弛緩薬、区域麻酔法
5	11/30(月)	3	111	臨床麻酔科学4	大嶋 嘉明	麻酔・集中治療医学	血液凝固系および血栓症を理解するとともに、肺塞栓症の予防と治療が説明できる。	抗凝固法、深在静脈血栓症、肺塞栓症
6	11/30(月)	4	111	麻酔科学各論1	北川 良憲	麻酔診療科群	呼吸器外科の麻酔法と肺循環の特殊性を理解する。	呼吸生理、肺循環、低酸素性肺血管収縮
7	12/7(月)	3	111	麻酔科学各論2	仲宗根 正人	麻酔診療科群	小児や妊婦の病態生理を理解し、麻酔法の選択と適応が説明できる。	小児麻酔、産科麻酔、周産期麻酔管理
8	12/7(月)	4	111	麻酔科学各論3	持田 晋輔	麻酔診療科群	代表的な心臓・大血管外科手術の麻酔法と冠循環を理解する。	冠循環、体外循環、心機能評価、心エコー法
9	12/14(月)	3	111	麻酔科学各論4	遠藤 涼	麻酔・集中治療医学	脳神経外科の麻酔法と脳循環の特殊性を理解する。	脳循環、脳保護法、低体温法
10	12/14(月)	4	111	麻酔科学 up to date	稲垣 喜三	麻酔・集中治療医学	最近の麻酔科学の話題から、麻酔科学の進歩を知る。	筋弛緩薬、吸入麻酔薬、モニタリング
11	12/21(月)	3	111	ペインクリニック1	大槻 明広	手術部	痛覚伝達経路と疼痛制御機構を理解し、痛みの診断手順が説明できる。	急性痛、慢性痛、下行性抑制系
12	12/21(月)	4	111	ペインクリニック2	青木 亜紀	手術部	疼痛治療に必要な神経ブロック法と薬物の選択と適応が説明できる。	神経ブロック法、鎮痛薬、鎮痛補助薬
13	1/4(月)	3	111	集中治療医学1	齋藤 憲輝	高次集中治療部	急性呼吸不全の病態生理と治療法を理解し、人工呼吸管理法が説明できる。	急性肺傷害、ARDS、人工呼吸管理
14	1/4(月)	4	111	集中治療医学2	南 ゆかり	高次集中治療部	急性循環不全の病態生理と治療法を理解し、循環補助法が説明できる。	ショック、循環補助法、循環作動薬
15	1/18(月)	3	111	集中治療医学3	森山 直樹	麻酔・集中治療医学	敗血症の病態生理と治療法を理解し、説明できる。	敗血症性ショック、感染症、SIRS

人間力の要素:知力(論理的分析力)、体力(適応力)、コミュニケーション力(プレゼンテーション力)

評価:定期試験 75%
レポート 0%
出席 25%

参考書:ミラー麻酔科学 メディカルサイエンスインターナショナル 監修:武田純三 2007年、麻酔科研修ノート 診断と治療社 監修:稲田英一、2014